

平成26年度の主な事業・経費

定住・住環境対策として導入した置戸町森と住まいの支援事業、住宅改修奨励事業は、多くの利用が見込まれることから、1,300万円を計上しました。また、高齢者等住宅改修助成（300万円）や老人居室整備資金貸付制度（200万円）の継続により、高齢者等の住環境改善に努めます。このほか、新エネルギー普及促進のため住宅用太陽光発電システム設置費補助制度は、280万円を計上しました。

- ・置戸町森と住まいの支援事業 800万円
- ・置戸町住宅改修奨励事業 500万円
- ・住宅用太陽光発電導入事業 280万円

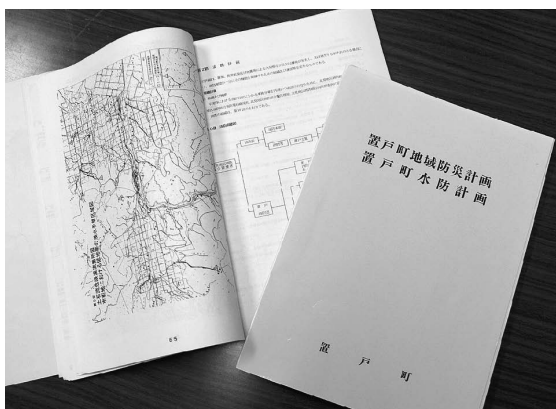


住環境対策として導入した置戸町森と住まいの支援事業

防災関係では、災害時の備えとして防災用備蓄用品に300万円、災害情報等を早急に伝達するため緊急防災メール配信システム導入経費に440万円、地域防災計画の策定や避難所現状調査等のマニュアル作成経費に564万円を計上し、防災対策の基盤づくりに努めます。

- ・防災対策備蓄用品整備事業 300万円
- ・緊急防災メール配信システム導入事業 440万円
- ・地域防災計画等策定事業 564万円

抜本の見直しが行われる置戸町地域防災計画



民生関係では、平成24年度から老人ホームに対して指定管理者制度を導入しましたが、運営体制を継続的に支援する経費として老人福祉施設指定管理委託料7,280万円を計上しました。障がい者活動拠点施設を運営するNPO法人置戸くらし

サポートたちつてとに対する運営費補助として399万円を計上し、安定した活動が実施できるよう支援します。

- ・老人福祉施設指定管理委託料 7,280万円
- ・NPO法人活動支援事業 399万円

児童福祉関係では、高校生までの子育て家庭を対象とした健やか子育て応援事業には、引き続き205万円を計上しました。また、3歳から小学校就学前までに拡大した乳幼児やひとり親世帯に対する医療費の初診時一部負担助成も継続することとしました。

- ・健やか子育て応援事業 205万円

保健衛生関係では、置戸歯科診療所のX線撮影装置の更新のため593万円を計上しました。各種検診や予防接種への助成、妊婦一般健康診査への公費負担や子宮頸がん等の予防接種についても継続して行います。子宮頸がん、乳がん検診費用の自己負担を軽減し、受診率の向上に努めます。また、風しんの流行を受け、妊娠を希望する女性やそのパートナーを対象とした抗体検査やワクチン予防接種に対する経費（26万円）を計上しました。関係医療機関との連携を強化するため、置戸赤十字病院への運営助成費として6,650万円の助成を行います。

- ・置戸町歯科診療所備品整備事業 593万円
- ・置戸赤十字病院医療施設充実事業 6,650万円

農業関係では、きたみらい地区道営土地改良事業として鉦北牧場の草地更新に750万円を計上しました。同じく道営事業として、春日川東線の農道整備に1,000万円を計上しました。新たな道営事業では、生産性の高い農業実現のため、農業用排水施設、区画整理等を総合的に実施する畑地帯担い手支援型事業として、調査設計費1,149万円を計上しました。農業体質強化のため小規模な土地基盤整備に対する助成を継続して行い、さらには、安全で安心な土づくり対策として、農地環境負荷低減対策事業に30万円計上しました。

- ・きたみらい地区道営草地整備事業 750万円
- ・農道整備特別対策事業 1,000万円
- ・道営農業競争力強化基盤整備事業 1,149万円
- ・農地環境負荷低減対策事業 30万円

造林事業として6,884万円を計上し、下刈りや除間伐等の実施により町有林の整備に努めます。民有林については、未来につなぐ森づくり推進事業に対し、民有林振興事業補助金として1,474万円を計上し、人工造林や除間伐を進め、豊かな森